

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 2022年11月4日

**【四半期会計期間】** 第55期第2四半期(自 2022年7月1日



## 第2 【事業の状況】

1



(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ6千8百万円(0.1%減)の



(5) 【大株主の状況】

2022年9月30日現在







## 第4 【経理の状況】

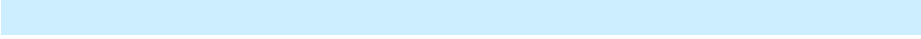
### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】 [E03126](#)





(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

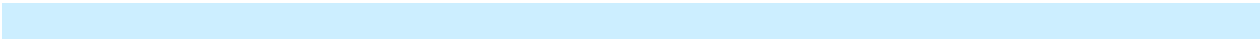
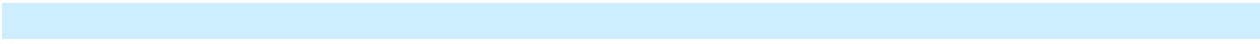
The table consists of 17 rows, each containing a light blue horizontal bar that redacts the content. The bars are of varying lengths, with the first 16 rows being full-width and the final row being significantly shorter, indicating a partial row of data.

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】



(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】



【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

棚卸資産の内訳は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
商品及び製品	3,142,483千円	5,051,479千円
仕掛品	3,620千円	3,888千円





(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)





(1株当たり情報)









# 独立監査人の四半期レビュー報告書

2022年11月2日

兼松エレクトロニクス株式会社  
取締役会 御中

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認